大阪大学 THE UNIVERSITY OF OSAKA

大阪大学総合学術博物館 Museum of Osaka University

大阪大学の「至宝」が龍伝説の起源になるのか？

マチカネワニ化石

天然記念物指定 記念講演会



2026年

9月30日（水）

入場無料

14：30～16：30（開場14：00）

大阪大学 豊中キャンパス
大阪大学会館 講堂
（大阪府豊中市待兼山町1−13）

■ 申込みフォーム　※申込み期限：9月9日まで

下記2次元コードよりお申込みいただけます。
（要申込・先着300名様）

大阪大学「知の広場」
https://open-univ.osaka-u.ac.jp/custom/app/Views/event/detail.php?id=904

■ 問い合わせ

大阪大学 共創推進部 社会連携課 総務係
ＴＥＬ：06－6850－6714（平日9：00～17：00）
Email：kyousou-syakai-soumu@office.osaka-u.ac.jp

【主催】大阪大学
【企画・運営】大阪大学総合学術博物館



基調講演 1

化石の発見から天然記念物指定まで

大阪大学 名誉教授　**江口 太郎**



基調講演 2

古生物学からみるマチカネワニ

北海道大学 総合博物館 教授
大阪大学 総合学術博物館 招へい教授
小林 快次

■ プログラム

司会　大阪大学 総合学術博物館 館長　河原 源太

開会あいさつ	大阪大学 総長　熊ノ郷 淳
来賓祝辞	文化庁、豊中市
基調講演１（30分）	「化石の発見から天然記念物指定まで」 大阪大学 名誉教授　江口 太郎
基調講演２（45分）	「古生物学からみるマチカネワニ」 北海道大学 総合博物館 教授 / 大阪大学 総合学術博物館 招へい教授 小林 快次
クイズ大会	ワニ博士からの挑戦状！ 「クイズで学ぶマチカネワニの歴史と魅力」
閉会あいさつ	大阪大学 理事・副学長　竹村 景子

■ 本講演会について

1964年に大阪大学豊中キャンパスで発見された本学の至宝「マチカネワニ化石」が、昨年、国の天然記念物に指定されました。これを記念し、2名の講演者を迎えて、マチカネワニ化石の学術的意義や文化資源としての価値についてご講演いただきます。



大阪大学
「ワニ博士」
博物館の頃

■ 講演者プロフィール



江口 太郎　大阪大学 名誉教授

専門は物理化学・博物科学。1970年に大阪大学理学部化学科を卒業。1976年より大阪大学に勤務、1979から81年に米国イリノイ大学化学教室博士研究員を務めた。2002年大阪大学総合学術博物館教授、2005年同館長を歴任、2011年同大学理事・副学長に就任。2014年退職し、大阪大学名誉教授、大阪大学生協理事長。現在に至る。受賞歴は、2004年「大阪大学共通教育賞」、2010年日本化学会「化学教育賞」、2025年「大阪大学総長特別表彰」。



小林 快次　北海道大学 総合博物館 教授/大阪大学 総合学術博物館 招へい教授

1971年福井県生まれ。米国サザンメソジスト大学で博士号（Ph.D.）を取得。専門は古脊椎動物学、とくに恐竜の進化、生態、行動の研究。日本を代表する恐竜研究者として、アジアや北米で発掘調査を行い、多くの新種の恐竜を命名している。北海道で発見された日本最大級の恐竜カムイサウルスなどの研究で知られる。恐竜から鳥への進化や極地環境への適応などをテーマに、数多くの国際共同研究を進めている。研究活動と並行して、博物館展示や教育普及にも力を注ぎ、テレビ・ラジオ出演、講演、執筆を通じて恐竜研究の魅力を広く伝えている。主な著書に、『恐竜まみれ』（新潮社）、『ぼくは恐竜探険家！』（講談社）、『恐竜学』（東京大学出版会）、『恐竜とぼく』（創元社）などがある。

■ 会場アクセス

大阪大学　豊中キャンパス
大阪大学会館　講堂
大阪府豊中市待兼山町1−13

駐車場がございませんので、
公共交通機関でお越しください。

map ▶


大阪大学会館　外観



大阪大学
THE UNIVERSITY OF OSAKA

大阪大学総合学術博物館
Museum of Osaka University